

令和元年度 学校教育自己診断の集計結果について

1 質問項目の変更について

今年度の実施にあたり、別紙の下線部の箇所は、昨年度より質問項目を変更

- ・ 文言の意味が伝わりやすいように具体的な例を追記した。
- ・ 1つの質問項目に2つの事柄の評価を求めているものについては、項目を分けた。

2 集計方法の変更

- ・ A～D評価をポイント換算して平均値を出す方法は、今年度より廃止した。
- ・ 回答数における比率を算出する方法のみとした。
- ・ A:「よくあてはまる」+B:「ややあてはまる」を「肯定的評価」と捉える（従来どおり）
- ・ C:「あまりあてはまらない」+D:「まったくあてはまらない」を「否定的評価」と捉える。（新規）
- ・ 肯定的評価と否定的評価、それぞれの上位10位に着目した。
その際、昨年度の集計結果と比較しやすいよう、昨年度の集計結果も同算出方法にて集計しなおし、1位から10位を並列して掲載した。

3 回収率

保護者アンケート （回収率 62.7%、H30：65%より減少） 111名/177名

教職員アンケート （回収率 64.5%、H30：85%より減少） 72名/110名